



赤いくつ

特定非営利活動法人
ニッポン・アクティブ
ライフ・クラブ
ナルク
NALC 横浜
発行者 吉川 武

横浜市旭区鶴ヶ峰2-24-6
TEL 045-719-5001
FAX 045-719-5002
Email: nalchama@minos.ocn.ne.jp
http://www.nalc-hama.net/

今年の定時総会も変則的に実施します

事務局長 福江 孝夫

昨年はコロナ感染症拡大防止のため、集会方式を中止し、書面表決による定時総会（6月7日）を実施しました。今年に入っても第3波の襲来により、1月8日から3月21日まで緊急事態宣言が発令されるなど、未だ終息していません。

定時総会の会場として、6月6日（日）に「ぱれっと旭（旭区鶴ヶ峰）」を予約しましたが、感染予防のため利用定員は半減されていて、全会員へ参加を呼び掛けることはできません。

定時総会への出席は、会員の皆様には申し訳ありませんが、書面表決による参加をお願いせ

ざるをえません。

3月、4月の運営委員会で具体的な手順を諮り、決定しますが、概略、次のように考えています。

5月上旬に、総会議案書と回答書を発送します。個別議案ごとに賛否を記入、返送ください。

定時総会議決は返送された書面回答の賛否を集計して決定します。

定時総会は議案の審議と同時に、ブロックを超えて多くの会員が交流できる、貴重な機会でした。今年も残念な総会となりますが、皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

会員勧誘キャンペーン結果報告

班長 棟保 禎彦

昨年の第26回定時総会において、ナルク横浜の最大の課題は「会員増強への取り組みである」と決議され、運営委員会で「会員勧誘キャンペーン展開」が決められました。

推進責任者を担当するよう指示を受け、早速9月には会員各位に代表の挨拶文・Q&A・パンフレットのお届け、10月には会報「赤いくつ」での会員拡大へ総力結集の記事掲載を。1月には代表による中間報告と更なる協力要請文のお届け、さらには全国紙である「ナルク」にも横浜の会員拡大取り組みの記事を取り上げ掲載頂きました。2月には会報「赤いくつ」に取組み成功事例の紹介に努めました。この間、各ブロック交流会において精力的に話し合いを重ねていただいた事は言うまでもありません。結果は残念ながら目標50名に対し29名と計画未達に終わってしまいました。会員拡大の意義や狙いをお伝えしきれなかった・会員の皆様のところを動かす努力や工夫が不足していたと任を全うできず反省しています。蒔かれた種は必ず芽吹くことを信じ、引き続きこの永遠のテーマに取り組んでまいります。

2月末会員数：451名（男性：191、女性：260）

ブロック	会員数	預託時間点数		奉仕時間	
		1月	2月	1月	2月
北	146	69	52	26	23
湘南	86	16	14	7	9
西	160	31	16	23	22
中央	59	14	16	25	0
合計	451	130	98	81	54

やさしさも楽しさもある
ナルク横浜

交流会あれこれ

北ブロック

令和2年度は計画の65%は未実施。淋しく仲間恋しい月日を送りました。

令和3年度を考えます。4月から12月迄のテーマは決めました。8月の暑気払いは実施したい!!が、コロナ次第です。コロナに負けてはられないと、安全・安心を徹底し自身を守る事に知恵を絞って、4回は外に出る計画を立てました。皆さんと会話をし笑って大いにふれ合いたいと思います。室内では会場確保が悩みの種ですが、民生委員さんの話や、老人学という身近な事を学べるチャンスもあります。

このようなことを通して暫く遠ざかっているボランティアの再開の折に気持ちがスムーズに移れるようにしたいのです。

諸情報・ご意見・要望等を大いに交換し、令和3年度は楽しい北ブロックにしたいです。

湘南ブロック

私達は、交流会を大切にしてきました。ナルクの会は「会員同志の助け合い」を進めて人のお役に立てる事を通じ、自らも健康で心豊かに生き生きとシニアの時代を送ろうと活動を進めていますが、日常の交流会を通してお互いの気心が通じ、気軽に「手伝って」「助けて」と言える関係はどれほど心強い事でしょう。

昨年は、コロナウイルス感染拡大の影響を受けて諸活動を自粛し、計画の75%を中止致しました。コロナの終息はまだ先になりそうですので、本年はコロナとうまく付き合いながら、環境に十分気を配り工夫をした交流会開催を企画して参りたいと存じます。手始めに、3月28日広々とした野外に出て「パークゴルフと花見の会」を実施致します。

西ブロック

**「WEB カッコーフェスタ'20」に参加
HP 及び YouTube を通じて活発な活動 PR を!**

毎年、大和市で開催されるカッコーフェスタにはバザーを出展して、会員と市民との交流の場としていた。しかし、昨年はコロナ禍の影響で中止となり、代わりに大和市民活動団体の活動紹介をホームページ上で実施する「WEB カッコーフェスタ'20」が企画され、参加の呼びかけがあった。2分間の動画ということで試行錯誤しながらPPTにまとめセンターに持ち込み、検討いただいた。即OKとなり、後はセンターでの仕上げ作業となった。団体紹介動画は2月1日以降順次配信されていった。

すでにYouTubeで確認済みのごとく「ナルク横浜」活動内容と募集を兼ねたもので、アクセス数も他を圧倒して多く「ナルク横浜」を知っていただくチャンスとなった。まだこれには続きがあって、3月下旬、参加団体の「意見交換交流会」ZOOMが企画されている。

中央ブロック。

リモート交流会

中央ブロックでは昨年来、リモート方式の経験が豊富な中西会員の指導の下、主として「LINE ビデオ通話方式」を学習、2月交流会が中止となったため思い切って10名参加の「ビデオ通話方式」でのリモート交流会を行いました。

当日はLINE参加者全員で「ビデオ通話方式」で実施、そのあと事前準備済みの数人で「ZOOM方式」も試行しました。双方の方式を経験して音声・画像ともに「ZOOM方式」が優れていることを痛感しました。

ただ「ZOOM方式」が定着するためには、参加者側でスマホやパソコンへのZOOMアプリの搭載などの事前準備が必要で、また会議を主催する「ホスト」の育成も必要。この方式が定着するまでには、時間がかかりそうです。

新入会員のひとこと

湘南ブロック

出田 とみ江

一昨年の11月平塚市民活動センター祭りに参加しました時、ナルクの活動紹介が目にとまりました。二人の男性から「会員同士の助け合い」の会と説明を受けると共に、活動内容を紹介したパンフレットと、金井さんの名刺を頂きました。全国組織・NPO法人なら安心と魅力を感じていました。

昨年11月の湘南交流会に誘われ参加し、入会を決めました。笑いヨガの岩田さんより頂いた「笑い神様」を額縁に入れて、毎日お見合いしながら大笑いし免疫力を高めています。

中央ブロック

栗野 久子

水戸の実家が現在空き家で、庭木や雑草が伸びてしまい困っていました。そんな折に知人からナルクさんを紹介していただき、ナルクに入会すれば、遠方でも作業をしていただくことができるとお聞きして早速入会しました。

お陰様で入会后、すぐに草刈・植木の剪定までやっていただき空き家の庭がすっかりきれいになり安心しました。

これから私に何かお役に立つことがあれば皆様と一緒に参加していきたいと思っています。



特集号「私の宝物」記事を募集いたします

「赤いくつ」編集委員会では、年一回会員の皆様呼び掛け「特集号」を発行することとし、初回は「私の旅行記」そして昨年は「私の趣味」を掲載させていただきました。本年は、「私の宝物」の特集を企画します。有形・無形を問わず奮ってご参加ください。

内容：私の宝物（有形・無形を問いません）

字数：600字程度（写真があれば添付ください）

提出：6月末までに各ブロック長まで（メール・FAX・郵送いずれも可）

掲載：赤いくつ8月又は10月号に掲載予定です



会員勧誘キャンペーン成功事例

西ブロック

上藺 正昭

成果は少ないですが、キャンペーン期間中の西ブロックの取り組みについて振り返ってみました。

- 会員名簿から配偶者が未加入の対象者をピックアップし、運営委員で手分けして加入のお願いをする取組を実施。結果3名の加入がありました。
- ナルクが毎月実施している、いずみ野駅ロータリーの草取りの活動を見て、活動に参加したいという方が2名加入しました。
- 大和市民活動センターのPR展(WEB動画配信)に参加し、ナルクの宣伝を行いました。まだ、具体的な成果はありません。
- 新型コロナ禍、ブロック交流会の開催は少なかったのですが、3月度の交流会では会員拡大のツールとして活用して貰うために、大和市民活動センターに出展したPR用の動画を参加者で視聴しました。そして交流会参加会員から1名の加入者がいるので申込書を頂きたいとの有難い発言があり、キャンペーン期間には間に合わないかも知れませんが貴重な成果になりました。



「赤いくつ」発行100号を記念して

元編集委員長 宮田 良一

記念すべき「赤いくつ」100号発行、誠におめでとうございます。
棟保編集委員長から100号を記念しての寄稿を要請され、思いつくまま書かせていただきました。

ナルク横浜は1995年9月に、関東地区最初のモデル拠点として前身である「WAC横浜」として会員52名で設立され、初代会長に高木敏之氏・事務局長兼会計に荒井準幸氏・その他10名の役員でスタートしました。(注)WACとは、Wonderful Aging Club(長寿社会文化協会)

その後、1998年5月にWACより分離独立して高畑敬一会长指揮の下、全国にニッポン・アクティブライフ・クラブ(通称NALC)拠点を設立して「時間預託制度」を採り入れ「自立・奉仕・助け合い」をモットーに地域に根差した活動を展開すべく、ナルク横浜は170名で再スタートしました。

初代広報部会長は現南横浜代表の小野里康興氏で、1996年8月に「赤いくつ」1号が誕生し3か月ごとに発行してきました。

私がナルクに入会したのは2000年2月、民間会社を定年退職し「保土谷国際交流の会」でボランティア活動をしておりました折、ナルク横浜についての情報を得たのがきっかけでした。人が生き生きと高齢期を乗り切るには、適度に筋肉と頭を使う事だと言われますが、ナルクにはそれが備わっていると確信し入会しました。間もなく私が小野里さんから編集委員長という大役を引き受け二代目となりました。

今回改めて設立当時の機関紙に目を通させていただきましたが、「ナルク横浜」が現在あるのは諸先輩が努力された結果であることを改めて感じさせられた次第です。

昨今コロナ禍で厳しい環境にあります。皆様ご健康に留意され「ナルク横浜」ますますの発展前進に向けてご活躍されます様祈念申し上げます。

一歩こう会

- 5月 三浦半島剣崎周辺散策
日 時：5月11日(火)
集合場所：京急線 三浦海岸駅
時 間：午前10時

- 6月 開成町あじさい祭り見学と周辺散策
日 時：6月12日(土)
集合場所：小田急線 新松田駅
時 間：午前10時



問合せ先はいずれも

北 沼沢 新太郎 042-733-8528
湘南 吉川 武 0463-58-6030

ハマっ子広場
俳句同好会

講師

＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊
友どち	血圧に一喜一憂	手で囲み沈丁花の香を独り占め	躊躇ひて冴えかえる日の再入院	富士遙か夕映えの空冴え返る	遮断機の斑を揺らし初電車	残生に見合う連用日記買ふ	閑人
昌子	ちかね	未知子	洋子	京子	閑人	閑人	閑人

※友どち 友だちのこと

会 員

編集後記

「赤いくつ」は会員皆様のご参加とご協力で成り立ち育てられてきました。
竹がしなやかで強靱なのは「ふし」があるからだと言われています。
「赤いくつ100号」を一つの「ふし」として、ますます皆様に愛し育てていただき、そして次の「ふし」が見事に形成できるよう編集委員一同微力を尽くしてまいります。
編集委員一同